



中城村

議会だより

題字：津覇小学校6年 仲松 百合花

もっと 知ろう

みんなの議会

狙いを
定めて
イン



いつまでも

はつらつとお元気で!!

生き生きライフ



第33号

平成24年9月議会

ココに注目!!

政策課題を追求

ひらきがおか
富山市開ヶ丘
地区田園住宅
平成24年10月29日
現在の様子

スローライフとベッドタウンの ライフスタイルが融合した「優良田園住宅」

食料・農業・農村基本条例は制定されたが、農業の担い手育成、住宅施策を本村でどのように活かせるかが課題である。中城村の更なる発展の可能性を求めて先進地の一例を紹介しします。

自然の情趣を味わい尽くす暮らし



菜園やガーデニング、竹炭づくりを楽しんだり、グリーンツーリズムを手伝ったりもしてみたい。

農業体験、農業技術習得の支援



定年退職後、畑仕事のおもしろさに目覚める人も多い。自分で育てた野菜、しかも採れたて、おいしさはまた格別。野菜づくりのノウハウは、近くの名人達からアドバイスを。

趣味に没頭できる空間と時間 ～交流学習施設～



静かな環境のなかで、休みの日は朝から晩まで思う存分、趣味に没頭できたら……。

子育て世代の賢い選択 ～公園に隣接した住宅～

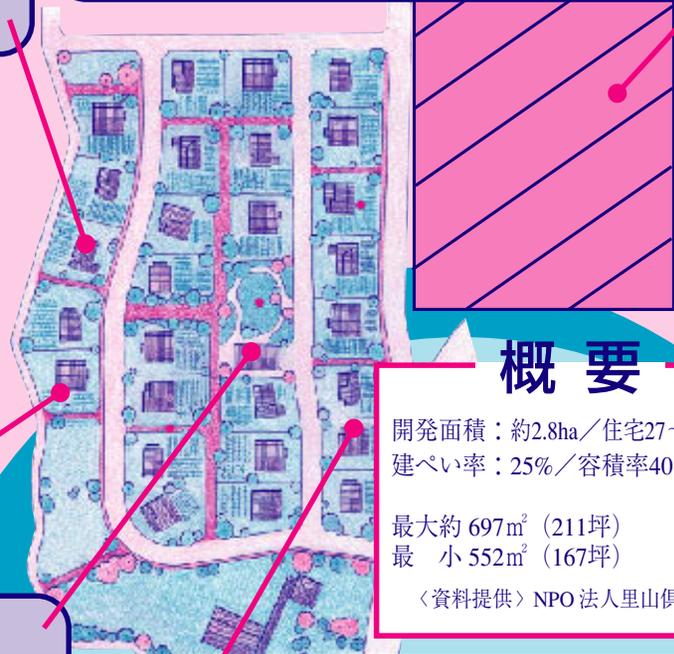


子どものためにも、空気がきれいで環境の良いところに住みたいと願うのが親心。子どもと様々な体験を。

広い敷地に家庭菜園がある暮らし



「あたいぐあー」から採りたての野菜でスローライフを楽しむ田園住宅。



概要

開発面積：約2.8ha／住宅27～29区画
建ぺい率：25％／容積率40％

最大約 697㎡ (211坪)
最 小 552㎡ (167坪)

〈資料提供〉NPO 法人里山倶楽部

村道中城城跡線（登又）

行きました 見ました やってみます

クローズアップ
ありんくりん確にん

視察日：平成24年9月10日

現在建設中の中城南小学校、同じく隣接する糸蒲公園など、中城村主要施策の執行状況をチェックしてきました。



完成に向けて全力で施工中。

中城南小学校建設工事

校内プール



新年度開校に向けて着々と進んでいる。

整備が進む糸蒲公園



遊具の設置も進み、芝の養生や駐車場の整備が済めば見晴らしも良く家族で憩える場になりそうだ。



区画整理事業築造工区 (22-5工区)



道路は整備され、住宅や商業施設も入り完成は見てきたと思える。

平成
24年

平成24年8月7日
第7回臨時議会

議案第37号
可決

護佐丸歴史資料図書館
建設検討委員会設置条例

議案第38号
可決

特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例
の一部を改正する条例

議案第39号
可決

平成24年度中城村一般会計
補正予算 (第2号)
1億4,484万9千円を追加、総額58億3,791万2千円

議案第40号
可決

南上原小学校 (仮称)
校舎建設工事 (校舎棟)
(機械設備) 改訂契約

同意第2号
可決

中城村副村長の選任
比嘉 正豊氏

平成
24年

平成24年10月18日
第9回臨時議会

議案第49号
可決

中城村一般会計補正予算 (第4号)
5,821万7千円を追加、総額62億4,030万9千円

決議第4号
可決

普天間飛行場へのMV22オスプレイ
強行配備に反対する抗議決議

意見書第5号
可決

米軍基地普天間飛行場へのMV22
オスプレイ強行配備に反対する
意見書

平成
24年

平成24年10月29日
第10回臨時議会

決議第5号
可決

米海軍兵による女性暴行
致傷事件に対する抗議決議

意見書第6号
可決

米海軍兵による女性暴行
致傷事件に関する意見書

議員 平成二十五年度
開校までの分校の学業
状況を伺います。
教育総務課長 三学期
からは新校舎での授業
を考えております。
議員 防犯カメラ、太
陽光発電の設置、雨水
の再利用について伺い
ます。
教育総務課長 外部か
らの来訪者を確認でき、

中城南小の
開校準備状況は



仲 座 勇 議員

議員 南上原分校前と
南上原中央線より北線
に抜ける県道十字路の
信号機の設置について
伺います。
村長 町村会として要
望の多い信号機設置を
県の一括交付金で来年
に向けて要請している。
住民生活課長 分校前
は宜野湾署管轄内で最
優先で設置するとの回
答を得ている。
議員 南上原中央線の

交通安全

不審者の侵入に対応で
きるよう防犯カメラを
設置している。太陽光
発電は設置なし。校舎
の屋根に降った雨を地
下の雨水槽に貯留し、
トイレ、植栽、運動場
への散水利用のため設
置している。ミストシ
ヤワーは設置されていない。

議員 送迎用自家用車
の交通安全について伺
います。
教育総務主幹 学校か
ら離れた駐停車、昇降
に安全な場所を指定し、
そこで昇降していただく。



安心して登下校するには信号機は必須

GA
一般質問
平成二十四年
九月定例議会
※質問者が会議録から要約した原稿を編集しています。



一期目の浜田村政 検証と二期目の公約

新垣善功 議員

客をなんとか十五万人まで増やすために努力して来ましたが、今後とも引き続き頑張っていきたいと思えます。二期目は、住みたい中城、住み続けた中城の実現のための政策の展開をしていきたいと思えます。

議員 子育て支援の充実については、一定の評価はできます、村民本意の村政運営と村民協働の村づくりがまだ

まだと思えます、村のトップセールスマンとして、職員の先頭に立ってリーダーシップを発揮して、一期目を検証して二期目に活かして真剣に村政運営に取り組んでもらいたい。

児童生徒の生活指導と いじめ問題

議員 最近の新聞、テレビ等でいじめ問題が報道されていますが、本村内でのいじめ問題

の状況と対応策・未然防止策並びに生活指導について伺います。

教育長 いじめについて、小学校はゼロ件、中学校は二件の報告がありました。早期発見対応のためアンケート調査の回数をふやしています。

また、未然防止については、生徒指導担当を中心に組織的に取り組んでいます。

議員 そんなに深刻な問題となっていないとの答弁でしたが、その様な考えではないか、その様なかと思えます。皆さんが把握しているのは氷山の一角ではないかと思えます。早期発見と未然の防止策について、学校現場、教育委員会とは連携を密にして

取り組みたい。問題が起きてからでは、遅いので。



村財政と 将来負担は

金城章 議員

事業及び資金計画を立てて基金積み立ても円滑に推進に努めます。中城南小学校は総事業費十九億二千万円、基金三億円、起債三億三千万円一般財源四千七百万円です。本村の将来負担率は平成二十三年度決算において八九・六%であり、

年々減少はしてませんが、県内市町村平均四九・五%を上回っている状況です。今後庁舎建設を予定している事から負担比率を悪化させないため資金計画を確立し

多くの基金を積み立てる事が必要だと思っております。施設等の建設後のランニングコストは運営管理で発生しますが、指定管理者制度の導入も含めて検討したいと考えております。

議員 村民にとって図書館とか新しい箱物は望ましいことと思っております。また村長の評価にもつながると思うが、将来的な計画、

農道舗装計画

負担も考えて村長と各課執行部が十分な議論をしていただきたい。

議員 農道舗装の件について九〇%の地権者の方がアスファルト舗装を望んでいるがどう考えているか。

農林課長 農道舗装は現在、農業農村整備計画を策定し、当間土地改良区を分別し、順次舗装整備を行う計画を立てております。

議員 農道舗装は土地改良区が問題で早めの検討はできないか。

村長 法的に問題がなければ、今現在事業は完了しており、早めの精算をして解散をすることができれば、我々が責任を持って舗装施策ができると思っております。

その他、東西道路の取り組みについて、農用地等利用・排水路整備の質問がありました。



発電所周辺の 安心・安全な 生活環境問題

宮城治邦 議員

議員 発電所構内の夜間照明が周辺地域にどのような影響があるか、調査した事はあるか。
企業・観光課長 測定器を使つての調査はしておりませんが、目視で調査を行いました。周辺住民からも明るいと言うことで安眠に影響があるとの苦情を聞いておりますので、三者協議会でも対策を講じるよう要請をしております。

議員 十月に二号貯蔵タンクへのガス受入れが予定されていますが、低周波振動問題が発生したグラントフレアは完璧に改善されているか。
また、今後の対策について当局はどのように指導していくか。
企業・観光課長 沖縄電力からの報告では完璧な改善には至ってないと言つております。恒久的な対策が確認されるまで指導していきたいと考えております。
議員 吉の浦火力発電所を誘致する前に先進地の新大分、新小倉LNG火力発電所を視察していますが、住民生活や環境保全の観点から立地条件の違いはあるか。
企業・観光課長 両LNG火力発電所とも工場用地として埋め立てられた場所に立地しています。吉の浦火力発電所との違いは住宅地までの距離と発電所周辺は緑地帯が広いと認

識しています。
議員 発電所構内にLNG基地が建設されているが、内外からの防犯、非常時における安全対策は協議されているか。
企業・観光課長 環境保全協定書において沖縄電力は保安施設の整備、自主的な監視及び防災保安体制の確立を図ることとされています。詳細等については村、地元久場、泊自治会、沖縄電力で構成する三者協議会において協議していきたいと考えております。
議員 吉の浦火力発電所から沖縄ガスへのガス供給について、当局はどう対応しているか。
企業・観光課長 沖縄電力とは新たなガス事業の設置はないという事で平成二十三年度十月に村と協議されています。
その他、吉の浦火力発電所とその功罪についての質問がありました。



ガス供給(案) 情報開示を

安里ヨシ子 議員

議員 沖縄ガスから沖縄電力に対し都市ガスの原料として天然ガスの供給依頼があったとして、沖縄電力社内の骨子案もまとまったので、地元久場、泊に対し地元説明会をしたい旨の連絡があり、突然で地元はとまどいと大きな不安をかかえています。それで村当局に伺います。ガス事業の

話は最初からあったかお聞きします。
企業・観光課長 吉の浦火力発電所の建設計画の説明の中ではなかったと思う。事業概要の詳細については承知していませんが、LPガスからLNGガスへ転換を希望している沖縄ガスと沖縄電力は協議を進めている事は承知しています。
議員 ガス供給ルートについて伺います。
都市建設課長 ルートについて中城村へ道路占用許可の調整はきています。案として、泊浜原線、吉の浦線、泊、伊舎堂、添石、屋宜、当間を通りファミリーマー トまで行き、国道に出て和宇慶の旧県道

に入り産業道路を経て南西石油人口まで行き、国道三一九号線を横断、県道三四号、県道二九号線を渡りながら琉大南口から沖縄ガス西原供給所までのルートとなっています。
企業・観光課長 沖縄ガスはルートにあたる集落に説明会をし、沖縄電力は地域の合意形成が得られなければ村として占用させない。
安全性の確保
議員 地元久場・泊だけでなくルートになっている付近住民への説明など情報の開示等村民の安全を守るため最大限の努力をしてほしい。
企業・観光課長 村長も答弁されているように地域住民の安心安全確保は最優先すべきである。



歩道橋設置

新垣 徳正 議員

議員 中城小学校バス停付近への歩道橋設置要請が、議長名をもって国の担当部局である南部国道事務所へ要請書を提出しております。その解答書が八月九日付で議会に届いております。その中で「貴村の地域防災計画に基づく防災事業と合わせて横断歩道橋の整備事業を実施することは可能と考えております。」とありますが、そこで本村の地域防災計画の策定状

況はどの様になっているのか。

総務課長 本年度は地域防災計画の改訂、ハザードマップの見直し、津波避難経路、避難場所の設定、その地権者、所有者との使用協定の締結を計画しております。歩道橋については南部国道事務所においても、防災計画の中で避難道路の設置、

工事と含めてでしたら可能だというふうな回答だと認識しております。そういう事で防災計画の中で位置づけをし、今後設置に向け、議会、行政、一体となつてやれば可能性も見出せるというふう

に考えます。
村長 総合事務局との勉強会の中でもこの問題を取り上げさせていただきました。交通安全、それ一点でやりますと、非常に厳しい結果が予想されましたが、防災という観点からすると、防災を基準にした形で本村として

も、そこを理論づけてやっていきたいなと思っております。

中城城跡整備計画

議員 整備事業の進捗状況、及び、完成後の運用管理の計画は。

生涯学習課長 当初、保存修理事業として平成二十六年までの計画でしたが、平成三〇年まで変更となつております。完了後は、城跡と歴史の道を組み合わせた活用、遺物を展示する博物館の建設を考えていきたい。

都市建設課長 整備後の管理は、基本的には北中、中城、県のほうで覚書しております。いずれにしても県のほうで管理していくと思ひます。

キャラクターの活用

議員 村のマスコット“護佐丸”の愛称を村民の皆さまから公募しては。

企業観光課長 良案だと思います。検討させていただきます。

施政方針のフォロー



与那覇 朝輝 議員

議員 今年度も六ヶ月が経過しており、施政方針のなかから六件程質問します。一点目は、沖繩振興特別推進交付金（一括交付金）について。現在決定している事業及び事業費、またどのような事業について交渉をしているか。

企画課長 九月十三日現在で内閣府から内諾を得ている事業は、十四事業で総額四億六千四〇八万円となっている。主な事業は、歴史資料図書館建設事業一億一千七十四万円、吉の浦会館建設機能強化事業一億七千万五千円、緊急災害避難広場整備事業一億円となっている。また、現在調整中の事業は、七事業で総額八千三七八万二千元となっている。

議員 通学バスの運行については、どのように進捗しているか。
議員 一括交付金でのバス購入は不可能になったが、来年四月には必ず運行できるように鋭意取り組んでいる。
議員 「優良田園住宅の建設促進に関する基本方針」の制定に向けての取り組みについてはどのようなようになっていくか。
村長 県内では初めての制度導入ということでも慎重な対応となっている。農林水産部等関係部局と積極的に接触し、ぜひ実現していきたい。
農林水産課長 今年六月に基本方針の協議文書を県に提出し、それに対する県からの質疑等照会事項についても九月初旬には回答している。関係部局との協議を積極的に進めていきたい。
議員 村道城跡線改良工事について、今年度はどの工事の予定しているか。
都市建設課長 今年度は、一区画側から引き続き三百メートルを十月中旬ぐらいに発注し、公民館前を通つて一四〇番地付近まで予定している。
※その他、コミュニティバス「ペリーの旗立て岩」周辺の整備事業、沖繩自動車道中城パーキングエリアで実施した村産品販売についての質疑がありました。

体協のあり方の検討を



新垣博正 議員

議員 近年の体協事業は、競技種目増による負担の増加が懸念されているが、どう認識しているか。

生涯学習課長 並行開催できる競技は同日に行い、競技日数を減らしている。多くの種目に参加し総合で上位を目指す体協、特定の得意種目へ参加する体協などが見受けられる。

議員 全く参加のない体協へのこれまでの支援策は。

生涯学習課長 三協協が不参加状態です。別の体

協からの参加も認めてはいるが、今後、対策を協議したい。

議員 郡大会予選の位置づけは実質選抜方式が主で、形骸化しているのではないかと、青年層の強化策を検討委員会で協議すべきでは。

生涯学習課長 確かに青年層の参加が非常に少ない。各字の状況を把握し検討していく。

表彰規定のあり方

議員 大半が競技の専門部長の推薦により各字代表者会議ですべて決定されているが、厳正な審査機関を設け乱発は見直した方がいいのでは。

生涯学習課長 規定に基づき表彰しているので乱発ではないと考える。平成二十二年度は十六名表彰し、二十四年度は十名が表彰されています。審査機関を設ける必要はあると考える。

学校教育

議員 スクールカウンセラー、スクールソーシャルケースワーカーの配置はどのようにな

っているか。

教育総務課主幹 カウンセラーは、県教育庁より週一回、小中学校に各一名配置。村の教育相談員が週一回ずつ小中学校を巡回し相談業務に当たっている。ケースワーカーも同じく県の派遣事業があるが、本村は対象外で該当しない。

議員 ケースワーカーの重要性をどう認識しているか伺います。

教育総務課主幹 子どもたちの問題行動の背景、心の問題、家庭、友人関係、地域における環境と絡みあっている場合が多い。学校だけでは対応困難な事例に対して関係機関と連携をとる重要な仕事だと認識している。

議員 一括交付金を活用して採用する考えは。

教育総務課主幹 市町村で採用した事例は周知してない。

議員 学校教育にも福祉の視点で支援するためにも配置の検討を。

広域組合への加入(し尿等下水道放流施設)



伊佐則勝 議員

議員 四月九日の臨時議会で、し尿等下水道放流施設の東部清掃施設組合への加入が可決され、平成二十六年に新施設での稼働移行が予定されています。中城・北中城村の両村運営から広域処理加入への経緯を伺う。

村長 懸案事項は、し尿処理施設の老朽化でした。この間紆余曲折はありましたが、国・県との折衝を重ねる中で、南風原・与那原・西原三町の同意承諾のもと

旅券事務の市町村移譲

現在に至っております。

議員 広域処理加入の最大メリットは。

村長 大きな財政負担の軽減につながっており、有意義な加入だと自負しております。

議員 旅券の申請・作成・交付等は都道府県知事の処理する事務とされているが、平成十八年に旅券法の改正があり、旅券事務の申請受付と旅券交付の市町村移譲が可能となりました。現時点で県内で移譲を実施している市町村数は。

住民生活課長 平成二十四年四月一日現在で二八市町村が移譲しています。

議員 住民福祉の行政サービスの向上の観点から、本村でも旅券業務を担うべきだと思いが、当局の考えを伺う。

住民生活課長 住民福祉の観点からメリット、デメリットを勘案して検討したいと思えます。

議員 移譲による村民

のメリット、デメリットについてどのように考えているか。

住民生活課長 メリットとして、住民は役場で申請交付ができ交通費等経済的負担が軽減できること。一方、デメリットとしては申請から交付までの期間が旅券センターより日数が少し長くなる事と、繁忙期の窓口混雑が考えられます。

議員 那覇市に通勤通学をしている方は、居所申請をすれば旅券センターで申請可能であり、役場窓口開設により村民はワンストップで申請が可能で経済的、時間的な恩恵を享受でき利便性は確実に高まります。村長の答弁を願います。

村長 住民サービスという部分で次年度に向けて移譲を受ける方向で真剣に考えていきたいと思えます。

その他、奥間児童公園(なかしもー広場)への運動遊具の助成支援の質問がありました。



オスプレイ 配備反対の 村民大会を!

仲 眞 功 浩 議員

議員 普天間飛行場へのオスプレイ強行配備により、本村への墜落事故や騒音問題が一層厳しくなってくる事が確実視されるが、本村はどう対応するのか。
村長 隣接する自治体の問題であり、県知事、市町村長を含め、沖縄県の総意として反対だということ、先頭に立って訴えていきたい。
議員 九月九日の県民大会では、我々の怒りを日米政府、あるいは世界に発信できたと思う。しか

し、その大会は闘いの始りであって、各市町村においてさらなる闘いを進めて行って頂きたいとの事だった。全くその通りだと思いが、村長はこの件に関して何か計画とか考えておられるか。

村長 市町村長の意見交換会などでもこの問題はよく出る。市町村一緒になってやるとか、時期を一つにしたほうがインパクトがあるんじゃないかと、今、意見交換の段階ですが、こういった形であるにしろ、中城村としても積極的に取り組んでいきたい。
議員 村民の意志を知らしめるための場、村民大会を開催するよう頑張ってください。

村独自の騒音 測定装置の設置

議員 オスプレイ配備により、村内の騒音が相当厳しくなってくると考えられるが、騒音測定装置の設置は考えてないか。
企画課長 これまで村独

自の騒音測定はやってない。これまで沖縄防衛局、沖縄県が測定実施の経緯はある。必要があれば予算措置をして騒音測定につなげていきたい。

議員 これからどんどん厳しくなっていくだろう騒音問題に対しては、実際のデータを示すしかない。村独自の測定データが提示できるような体制を是非作って頂きたい。
ブックスタートの実施を!

議員 全国一七四二市区町村中、八二〇市区町村、沖縄県でもすでに二十市町村がブックスタートを実施している。本村の考え方、取り組みは。
健康保険課長 ブックスタートは、地域みんなで赤ちゃんの成長を温かく見守る子育て応援事業と考えておりますが、取り組みはまだです。
議員 あまり予算のかからない事業です。二番目の自治体になって頂きたい。



一括交付金等の 村予算

新 垣 光 栄 議員

議員 一括交付金に係る予算の現状は。

企画課長 事業が五億を超過していることから、今後新たな事業はないと考えております。

議員 私の概算で、歴史資料館は十億の建物になると思うが。

企画課長 相違ありません。

議員 平成二十五年、二十六年の一括交付金を使いきると考えてよいか。

企画課長 多くの予算が配分されます。

議員 一括交付金の配分

が限られてくる。そこで、グリーン化重点予算を活用し平成二十五年度概算要求で、六次産業化の提案を行っているのか。

企画課長 まだ行っていない状況です。

議員 この数年、農業関係の長期的な投資が行われていない。「あたらしい朝市」関係の相対販売施設の設置、飼料加工場、冷凍倉庫、食器加工場等、六次産業化予算に使って頂きたい。

農林水産課長 実現できるように取り組んでいきたい。

観光振興

議員 中城城跡を活かした観光振興をどのように考えているのか。

村長 城跡にこだわったイベント、また登又からの城跡線の開通に伴う誘客をしっかりとやっていきたい。

議員 村長の想いが詰まっているのが予算だと思えます。次年度の観光予算は。
観光推進課長 一千五〇〇万円を考えています。

議員 村の一括交付金は限られてるので、城跡の公

園に県の予算でイベント施設、滞在型学習施設等の建設を提案するが。

都市建設課長 提言できないか検討する。

議員 県営公園の管理を中城村で指定管理できるように交渉していただきたい。

都市建設課長 調整会議の中で協議できると思います。

議員 「歴史の道」の管理をどのようにおこなうのか。

都市建設課長 村、建設協力会、ボランティア等でやっていますが、要望があれば都市建設課で対応します。

議員 中城村の歴史の道、村道、県道、国道の街路樹及び中城城跡の樹木を、黒檀、ハイビスカス、ツワブキに統一して、沖縄最大の護佐丸ウオーラリーを実現するために、まずツワブキを増やすべきと思うが、次年度その予算化を。

村長 しっかりと応えていきたいと思っています。

常任委員会決算審査報告

各常任委員会へ付託された議案は慎重に審査した結果、以下の「留意すべき指摘事項」を付け認定されました。

一般会計

- ★健康保健課は、高齢者等の疾患の予防と健康増進を目的に実施しているふれあい事業の拡大のための対策と予算増額を検討すべき。
- ★住民生活課は、衛生費・清掃総務費として計上されている中城北中城清掃事務組合負担金を人口割合だけでなく、ごみ搬入量割合の算入を検討すべき。

国保特別会計

- ★特定検診の受診率の若干の低下が見られる。目標数値の達成を図る上からも村民への周知徹底を図るように留意すべし。

公共下水道事業

- ・接続率が28.0%と低率であり、今後接続の啓蒙を進め、接続可能な家庭排水での状態を把握して積極的な接続を進める必要がある。また南上原区画整理地内の工事を推進する必要がある。

土地区画整理事業

- ★昨年同様保留地処分は処分予定額以上に売り上げているが、特段の配慮が今後とも必要となる。

水道事業

- ★昨年同様、給水人口も増加し、事業収入も割増となっているが、有収率が前年度より減っており、遠隔監視システム等を活用し、さらに漏水防止等に努める必要がある。

平成24年度補正予算

議案第42号

可決

一般会計補正予算(第3号)

3億,4418万円を追加、総額61億8,209万2千円

議案第43号

可決

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

7,692万8千円を追加、総額24億3,792万8千円

議案第44号

可決

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

97万7千円を追加、総額1億676万4千円

議案第45号

可決

土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

2億3,148万9千円を追加、総額5億3,179万3千円

議案第47号

可決

水道事業会計補正予算(第1号)

479万5千円を追加、総額4億1,590万2千円

議案第46号

可決

公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

7万4千円を追加、総額3億3,784万6千円

議案第41号

同意

固定資産評価審査委員会委員の選任

山城 興淳氏

第8回中城村議会定例会 会期：9月7日（金）～9月26日（水）

平成23年度一般会計歳入歳出決算

認定第1号

認定

62億2,831万8,763円の使い道

歳出総額

61億1,917万7,866円

中城村が使ったお金

平成23年度予算の

執行率

98%

使いました

差引残額

1億914万897円

残ったお金

ちなみに前年度と比較すると

歳入は、2億7,906万4,221円の増
歳出は、3億4,601万7,923円の増

特別会計の
使い道は？

認定第4号

認定

公共下水道事業特別会計

歳入総額：3億4,480万2,238円
歳出総額：3億4,226万1,894円
差引残額 254万 344円

前年度比では、歳入は、332万4,120円(0.96%)増
歳出は、334万5,332円(0.98%)増

認定第2号

認定

国民健康保険特別会計

歳入総額 23億2,998万7,689円
歳出総額 22億5,285万1,612円
差引残額 7,713万6,077円

前年度比では、歳入は、7,178万5,647円(3.08%)増
歳出は、8,884万7,287円(3.94%)増

認定第5号

認定

土地区画整理事業特別会計

歳入総額：7億9,763万4,837円
歳出総額：6億3,428万9,322円
差引残額 1億6,334万5,515円

前年度比では、歳入は、8,987万4,956円(11.27%)増
歳出は、1億8,213万2,146円(28.71%)増

認定第3号

認定

後期高齢者医療特別会計

歳入総額：1億111万8,727円
歳出総額：1億 14万1,595円
差引残額 97万7,132円

前年度比では、歳入は、148万3,692円(1.47%)増
歳出は、184万 879円(1.84%)増

認定第6号

認定

水道事業会計

収益的収入：4億2,875万4,601円
収益的支出：3億9,776万5,468円
資本的収入：5,400万円
資本的支出：1億2,950万1,364円

8.23

日米安全保障条約と地位協定を問う!!



琉球大学教育学部
講師： 島袋 純 教授

吉の浦会館 中部地区町村議会議員・職員研修会

日米安保、日米地位協定により米軍統治が終わってもなお基地被害の絶えない我が沖縄県、米軍兵の外出禁止中にもかかわらず傷害、暴行事件を起こす事例も記憶に新しい。

日米政府の狭間に生きる沖縄県民の将来について大変興味のかかれるお話を聞かせていただきました。

10.25

より地域住民に近い自治を!!

NBCサムシング・フォー西崎 町村議会議員・事務局職員研修会

県内の町村議会議員並びに職員が参加し、住民がより良い暮らしができる議会運営を学びました。

二部構成で、一部に沖縄県企画市町村課長の安慶名均氏を迎え、沖縄振興特別推進交付金市町村事業について詳しい講話を聞き、二部は山梨学院大学法学部の江藤俊昭氏による、住民自治の根幹としての議会の心得を伝授していただきました。

ぎかいだより編集委員



伊佐	新垣	新垣	金城	新垣
則勝	博正	徳正	章	光栄

編集後記

九月決算審議を終え、行政のチェック機関である議会の重責を、議員それぞれが改めて認識しているところです。

さて、国策という名の重圧でもって、本村に隣接する普天間飛行場に、危険きわまりない欠陥機、オスプレイが強行配備されました。

其の事は今後、いつ墜落しても不思議でない物体が、我が中城上空を日常的に飛び交うという異常な状況を招く事になり、到底容認できる事ではなく十月二十四日オスプレイ配備撤回の村民大会に於いても、多くの村民の皆様が声を上げ、その意志を示してきました。

今後は我々議員団も思いを一つにし、配備撤回に向け行動することを認識し、決意表明を行ってるところです。皆様とともに頑張るつもりです。
(新垣 徳正)

題字募集!

「ぎかいだより」の題字の募集をします

(ぎかいだよりの文字を横書きと縦書き)

中城村の児童・生徒のみなさん、上手いも下手も関係ありません! あなたの字のままでいいんです
お問い合わせは中城村議会事務局 (☎895-4318) まで